

【 重 点 目 標 】

1 豊かな人間性の育成

自他を大切に思いやりの心をもって行動できる子供を育てる。

- ① 挨拶週間を通して、挨拶の大切さに気付かせる。
保護者や地域の方々、高松アカデミーとも連携して行う。
- ② 挨拶カードの利用や学級指導、各学期末の振り返りを通して、挨拶への意欲をもたせ、進んで挨拶ができるようにする。
- ③ 全教育活動を通して、道徳教育の充実を図り、思いやりの心を育む。 等

2 豊かな知力の育成

主体的な学習活動を更に充実させて思考力や表現力の向上を図る。

- ① 児童自らが「考えたい」、「解決したい」と思えるような課題設定を工夫する。
- ② 児童相互が「自分の考えを伝えたい」「友達の考えを聞きたい」「自分の考えを確かめたい」「お互いの考えをよりよくしたい」と思えるような話し合いの場の設定を工夫する。
- ③ 操作活動や体験を取り入れ、実感を伴いながら学習内容を理解していけるような授業にする。
- ④ 学力調査の結果を指導に生かす。 等

3 健やかな身体の育成

健康な体づくりのために努力する子供を育てる。

- ① 新体力テスト、健康診断の結果から、本校の課題を明らかにし、必要な運動や生活習慣を体育や保健の指導を通して計画的に行っていく。
- ② 休み時間の校庭、体育館の使用学年を調整し、全校児童ができる限り、一日に1回は体を動かす機会を設けるようにする。
- ③ 保健の授業、学級指導、保健だよりの発行、学校保健委員会の開催等を通して、「早寝、早起き、朝ごはん」を推進する。 等